

# 「言語と情報研究プロジェクト」 第52回公開セミナー

**演者：山梨正明先生** (関西外国語大学教授, 京都大学名誉教授)

**演題：認知言語学のパラダイム--言語科学の新展開！**

**日時：2015年9月4日(金)18:00~20:00**

**会場：広島大学文学研究科 B104**

認知言語学のアプローチは、いわゆる言語能力に関わる知識は、五感、運動感覚、イメージ形成、視点の投影、カテゴリー化、参照点能力、等に関わる人間の一般的な認知能力から独立した自律的な言語知識としては規定できないという視点に立っている。この視点は、身体性に関わる前-表象的、前-記号的な生きた経験の場から、言語知識の発現と分節化のプロセスを根源的に問い直していく立場を意味する。日常言語の形式と意味はどのように発現し、伝達の場においてどのように機能しているのか。言語能力の根源はどこに求められるのか。言葉の創造性の根源はどこに求められるのか。認知言語学の研究プログラムは、言語現象を身体的経験に根ざす発現系として創発的に規定していく視点から、これらの問題を探究していく一貫した方向性を打ち出している。本講演では、認知言語学のパラダイムと方法論を考察し、言語科学の新たな研究の方向を探っていく。

※教員、大学院生、学部生、他大学教員・学生、どなたでも参加自由です(申し込み不要)

**広島大学大学院総合科学研究科 21世紀プロジェクト・「言語と情報研究」プロジェクト**

(連絡先: 町田章 [akimachida@hiroshima-u.ac.jp](mailto:akimachida@hiroshima-u.ac.jp))